

平成 21 年 4 月 14 日

南海電気鉄道株式会社  
社団法人大阪フィルハーモニー協会

子どもたちに本物の音楽を -

## 文化振興事業「Harmonia - ハルモニア - 南海」

沿線の子どもたちに音楽と親しんでいただくため、今年度も事業をすすめます

南海電鉄（社長：亙 信二）と大阪フィルハーモニー協会（理事長：小林 庄一郎）では、子どもたちが本物の音楽に親しめる機会を創出し、音楽分野で活躍する人材の育成および能力向上を支援する活動を、協働事業として進めています。本活動は、南海電鉄の文化振興事業「Harmonia-ハルモニア-南海」の一環で、南海沿線をはじめ関西における音楽文化の向上を図るため、クラシックオーケストラコンサートの鑑賞支援や小学校への継続的な音楽指導支援を行うものです。

今年度は、昨年度に引き続き実施するクラシックコンサート鑑賞支援「南海コンサート少年少女鑑賞会」や小学生演奏指導支援「小学校 de カンタービレ」に加え、新たに「南海コンサートへの少年少女合唱団出演招待」を実施します。

詳細は別紙のとおりです。



南海コンサート（イメージ） © 飯島 隆



小学校での演奏披露

1. 「Harmonia-ハルモニア-南海」事業について

南海電鉄が現在取り組んでいる経営計画「堅進126計画」の、基本方針の一つである「沿線活性化の推進」に基づき実施する文化振興事業です。音楽分野で活躍する人材の育成および能力向上を目的とし、大阪フィルハーモニー交響楽団との協働などにより、子どもたちが本物の音楽に親しめる機会の創出を目指します。

ハルモニアとは「ハーモニー」の語源となったラテン語で、調和、和音を意味します。関西における音楽の振興をはじめ、地域やステークホルダーとの調和を目指し、ともに響きあい、共鳴するコミュニティづくりを推進していきます。

2. 平成21年度の事業内容について

(1) 南海コンサートへの少年少女合唱団招待について(新規)

沿線で活動する少年少女合唱団がプロのオーケストラと同じ舞台に立つ機会を創出し、音楽に対する意欲を高めることを目的として、今年度から新たに実施する企画です。

第54回南海コンサート(7月19日開催・会場:貝塚コスモシアター)において「泉佐野市少年少女合唱団」「貝塚少年少女合唱団」「岸和田市立桜台中学校合唱部」の総勢100余名がオーケストラと共演し、「翼をください」を合唱します。

南海コンサートは、大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏によるもので、沿線の音楽文化振興のため、南海電鉄が協賛・実施しています。

(2) クラシックコンサート鑑賞支援「南海コンサート少年少女鑑賞会」について(継続)

子どもたちに本物の音楽に触れる機会を提供し、音楽文化力を高めるため「音楽と私 将来の夢」をテーマに子どもたち(小学生以上18歳以下)から作文を募集し、応募者とその保護者をペアで南海コンサートに招待します。平成21年度7月開催のコンサートへの招待者数は、25組50名です。

なお、昨年度は10月のコンサートに11名、2月のコンサートに26名の応募がありました。

(3) 大フィルメンバーによる小学校訪問「小学校 de カンタービレ」について(継続)

子どもたちの管弦楽やオーケストラに対する関心を引き出すことを目的として、大阪フィルハーモニー交響楽団が楽団員を10月以降毎月1回、小学校に派遣します。演奏会を通して音楽の楽しさを伝えるとともに、高学年児童に対して音楽指導を行い、最終的にはその成果を披露する発表の場を設けます(南海電鉄協賛)。

今年度は、河内長野市内の小学校2校が派遣校です(平成20年度は泉佐野市立第二小学校と河内長野市立天見小学校の2校。両校とも児童たちの反応がよく、大成功を収めました)。

以 上